

## チャレンジ！！オープンガバナンス 2021 市民／学生応募用紙

自治体提示の地域課題タイトル（注1）	No.	タイトル	自治体名
	28-20-2		豊中市
チームがつけたアイデア名（注2）（公開）	庄内若物語		

（注1）地域課題タイトルは、COG2021 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題タイトルを記入してください。

（注2）アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。

### 1. 応募者情報 赤字部分は削除して該当の番号を記入

チーム名（公開）	こじまーず		
チーム属性（公開）	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生	3	
メンバー数（公開）	5名		
代表者（公開）	山田愛莉		
メンバー（公開）	吉田花音	泉太登	大谷慎太郎 河野莉音

#### 【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。

＜応募の際のファイル名と送付先＞

1. 応募の際は、ファイル名を COG2021\_応募用紙\_具体的チーム名\_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2021 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。admin\_cog2021@pp.u-tokyo.ac.jp

＜応募内容の公開＞

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について：
 

「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY（表示）4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC（表示－非営利）4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。

（具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>）
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。（例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開いたしません）
5. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

＜知的所有権等の取扱い＞

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

＜チームメンバー名簿＞

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。（2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。）

**アイデアの説明全体が肖像権・著作権等を侵害していないことの確認** ○

**（1）アイデアの内容、（2）アイデアの理由、（3）実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。**

必要に応じて図表を入れていただいても結構です。

## 2. アイデアの説明（公開）

## (1) アイデアの内容（公開）

### (1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、対象とする課題解決のために、何をする社会的な活動（サービス）なのか、をわかりやすく示してください。これが将来実現した場合、魅力的で新規性があり、実践したくなり、活用してみたい、そしてその結果として、課題が解決される、そんなわくわく感のあるアイデアを期待します。2ページ以内でご記入ください。

＜応募チームとして解決したい課題の要点はこれ！をごく短く書いてください＞

庄内の町を若者で活気付ける。

＜この課題解決のために「何を」するアイデアか、それを「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」するかをわかりやすく書いていきます＞ <アイデアが具体的に実行される場面を想定してください。>

＜よいアイデアを生むには関連データの分析確認とデザイン思考によるアイデアを使う人への共感が必要です＞

＜開催予定日時＞

・春、秋の2回開催（13時～22時）

＜概要＞

- ・庄内のお店を巡るフェス形式でミュージックコミュニケーション専攻が主体となり、他専攻を巻き込んだ大阪音楽大学全体で庄内を盛り上げる
- ・お店ごとに同時開催で、ジャズ、クラシック、ロックなど音楽のジャンルを分ける。
- ・予めタイムテーブルを提示し、お客様自身で各々のセットリストをたどりながら各店舗の食事を楽しんでもらう

＜集客方法＞

複数店舗を利用することによって割引サービスを設ける＋学生には学割で提供

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

若物語 タイムテーブル（仮）		店舗			
		A店	B店	C店	D店
時間	13:00	ジャズ 1		クラシック 1	ロック 1
	14:00		ヒップホップ 1	クラシック 2	
	15:00	ジャズ 2	ヒップホップ 2		ロック 2
	16:00	ヒップホップ 3	ジャズ 3		クラシック 3
	17:00	ヒップホップ 4		ロック 3	
	18:00		ジャズ 4	ロック 4	クラシック 4
	19:00	クラシック 5	ロック 5		
	20:00			ジャズ 5	ヒップホップ 5
	21:00	クラシック 6	ロック 6	ジャズ 6	
	22:00		ロック 7		ヒップホップ 6

## 2. アイデアの説明（公開）

### (1) アイデアの内容（公開）

<この企画を考えた理由>

庄内地域に通学する大学生として自分達自身庄内地域があまり若者向けの地域ではないと感じていた。しかし、庄内地域に若者向けの施設を誘致するだけでは、現在生活している人々にとって住みやすい町になるとは限らない。そこで、既存の店舗と連携して庄内に通学する学生及び、周辺地域の学生に庄内地域の良さを知ってもらい、今後若者主体で庄内地域を盛り上げていく動きを目指したいと思ったから。

→庄内地域全体の店舗に参加してもらうことにより、地域全体の活性化も目指すため

→お客様に庄内地域の雰囲気や店を知ってもらうことを狙うため

→お客様同士の交流が生まれることによりイベント後も持続可能な庄内地域活性化を行うため

→より学生が過ごしやすい地域にするため

→庄内地域と大阪音楽大学をより密接に結ぶきっかけ作りのため

## 2. アイデアの説明（公開）

### (2) アイデアの理由（公開）

#### (2) アイデアの理由（公開）

このアイデアを提案する理由（なぜ）について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ 2 ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

<このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます>

<先の（1）で書いた「何を」「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」というアイデアの内容を支えるための、「なぜ」このアイデアがいいのか実現したいのかを上記のデータを示しつつ書いていきます>



**(3) アイデア実現までの流れ（公開）**

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）**の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの**実現にいたる時間軸を含むプロセス**、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、**アイデア実現までの大まかな流れ**について、**2 ページ以内**でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

<アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきまず>

<以下のように分けて書いていきます>

1. **実現する主体**
2. **実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）**の大まかな規模とその現実的な調達方法
3. **実現にいたる時間軸を含むプロセス**